

## ダボス会議で知られる世界経済フォーラムの「グローバル・シェイパー」に選出されました。

ダボス会議とは、スイスのジュネーブに本部を置く世界経済フォーラム(WEF: World Economic Forum)が、毎年1月にスイスのリゾート地、ダボスで開催する年次総会の通称です。ダボス会議を主催するWEFは、国際的な非営利団体であり、政財界をはじめとする各界のリーダーたちの連携を通して、世界の経済・社会の現状の改善に向けて取り組むことを目的としています。その世界経済フォーラムが、30歳以下の企業家精神を持った公益的な活動を行っている若者をグローバル・シェイパーとして選出し、世界各地に核となるコミュニティ(ハブ)づくりを進めています。現在までに、世界で1000人以上が選出されています。グローバル・シェイパーの任期は5年間で、期間中はグローバル・シェイパーズ・コミュニティに属し、他のメンバーとともに世界を変革するプロジェクトを実践します。私もグローバル・シェイパーとして推薦して頂き、パワフルで志高い仲間と共に平成24年5月、日本で第2の拠点となる大阪ハブを立ち上げました。それぞれのフィールドで活躍する同世代の仲間と共に、多くの経験を積んでいきたいと思っています。



## 議会改革について

兵庫県では、議員提案の議会改革条例が平成24年3月22日の本会議において「兵庫県議会基本条例」を全会一致で可決しました。

この条例は、議会が県民の代表としての責任を自覚し、県民福祉の向上と発展に寄与していく決意を条例化したものです。平成24年6月より始まった新しい取り組みとしては、本会議における質疑・質問の一問一答方式、分割方式の選択が可能になったこと、議案等に対する会派の賛否について、兵庫県議会ホームページ上で公表されるようになったこと等が挙げられます。この他、平成23年度に、常任委員会での議員間討議が可能になったことなど、様々な議会改革が進められています。ただ、実際には委員会によって委員間議論の活発さにばらつきがあるのは否めません。制度を変えるだけでなく、制度を活用する我々議員自身が、自己研鑽を深めることで真の改革が実現するのだと思います。条例の詳細は兵庫県のホームページからも見られますが、コピーをご希望の方は大前事務所までご連絡下さい。

## 常任委員会の活動について

警察常任委員会の管内調査(神戸・阪神地区)の中で、武庫川女子大学ボランティアの方と、地域防犯活動(青色防犯パトロール)への取り組みについて意見交換を行いました。

兵庫県下に防犯青色パトロールは243団体、966台、西宮市内では8団体18台あります(平成24年8月現在)が、大学生が主体となって取り組んでいるのはここだけだそうです。ボランティアとして平成24年6月から実際に取り組んでいる青色防犯パトロールに関するお話を中心に、地域における防犯活動について、警察常任委員会委員と意見交換を行いました。まだスタートしたばかりということで、今後の活躍が期待されるようです。

この管内視察の地域団体との意見交換会も議会改革のひとつです。今回が一回目で、対話形式での意見交換でしたが、質疑応答の形式や、各地域でどのようにして団体を選ぶかなど、今後も他の委員会と情報交換をしながらより有意義な取り組みになるよう努めて参ります。



また、常任委員会ごとに特定テーマを定め、一年をかけて調査研究を行う取り組みも導入されました。今年度は犯罪被害者の支援がテーマです。特に、性犯罪被害者の多くは女性です。私も女性の一人として、実情に合った支援を考えて参りたいと思います。

※青色防犯パトロールとは警察から自主防犯パトロールを適正に行うことができる証明を受け、道路運送車両の保安基準に適合した青色回転灯を装備した自動車によって行われる民間防犯パトロールのこと。

## タウンミーティング(県政報告会)について

以前は新年会などの行事の際に県政報告を行っていましたが、今年に入ってから西宮市内を30箇所程度に分けて、県政報告及び地域の方との意見交換会として、月に2~3回のペースでタウンミーティングを行っています。今年の2月定例会では、トピックで紹介したように、頂いたご意見を元に県議会で質問をしました。また、タウンミーティングをきっかけに地域の方同士で新たな繋がりができたことなど、期待していた以外の効果もあり、今後も継続して続けていきたいと思っています。



す。内容も、ご案内の方法についてもまだまだ手探りの状態ですが、活動のご報告と共に、私自身も各地域の状況や課題をもっと知っていけるよう、さらに充実した集会にしていきたいと思っておりますので、よろしくお願い致します。

### タウンミーティング開催状況

開催日	場所	校区・地区
平成24年1月21日(土)	甲東センター	甲東・段上地区
平成24年1月28日(土)	甲子園口市民館	上甲子園地区
平成24年2月4日(土)	山口公民館	山口・北六甲台地区
平成24年2月6日(日)	上ヶ原公民館	甲陽園・神原地区
平成24年2月12日(日)	塩瀬公民館	名塩地区
平成24年3月4日(日)	甲東公民館	上ヶ原地区
平成24年3月10日(土)	高須公民館	東甲子園・高須地区
平成24年3月17日(土)	用海公民館	用海地区
平成24年3月24日(土)	瓦木公民館	高木・瓦木地区
平成24年3月31日(土)	北瓦木センター	樋ノ口地区
平成24年4月7日(土)	穂木公民館	北夙川地区
平成24年4月22日(日)	安井市民館	安井地区
平成24年5月6日(日)	南甲子園公民館	今津・南甲子園地区
平成24年5月26日(土)	夙東市民館	香杉園・浜脇地区
平成24年6月24日(日)	鳴尾東公民館	東鳴尾地区
平成24年7月1日(日)	鳴尾公民館	鳴尾地区
平成24年7月14日(土)	香風公民館	香風地区
平成24年7月22日(日)	学文公民館	小松・鳴尾北地区

### 今後の開催予定

開催日	場所	校区・地区
平成24年9月1日(土)10:30~	大社公民館	広田・大社地区
平成24年9月16日(日)10:30	夙川公民館	夙川地区
未定	生瀬市民館	生瀬地区
未定	平木市民館	深津地区
未定	甲英学院	津門地区

## 大前はるよの県政トピック



2月定例会・一般質問より

2月定例会において、朝鮮学校に対し、兵庫県が補助金を出していることについて質問しました。北朝鮮の拉致問題という国家テロを容認しているような朝鮮総連の考え方に基づく教育を行い、総連側にも資金が流れているといった情報もあるようなところに、県民から集めた税金を投入することに疑義がある、という意見を多く頂き、私自身も疑問であったからです。現在、大阪府では①学校指導要領に準じた教育活動を行うこと②学校の財務情報を一般公開すること③特定の政治団体と一線を画すこと④特定の政治指導者の肖像画を教室から外すことを交付要件として提示しています。兵庫県でも、そういった条件を提示し、それを満たした上で交付すべきではないかということ提案したのです。

実は、過去にも多くの議員がこの問題について質問しています。しかし、これに対する当局の答弁はいつも同じで、今回も「慎重に対応してまいります」という煮えきらないものでした。

拉致問題を北朝鮮がみとめて10年以上が経過しています。また、質問は2月でしたが、その2か月後の4月、再び北朝鮮は日本に向けてミサイルを発射しました。失敗に終わったものの、その北朝鮮と密接な関係にあるこの教育機関をきちんと調査もせず、情報公開もなしに支援を続けている兵庫県の姿勢には非常に違和感を感じます。

また、私がこの問題について取り上げたのには、もうひとつ理由があります。政治は、常に「将来のために今がどうあるべきか」を示し、行政が補助金を投入するような教育機関としての「学校」とは常に「子供達が将来あるべき姿を示し、導くためのもの」であるべきだと思うからです。

朝鮮学校は他の外国人学校とは異なり、学校卒業後も生徒達の殆どは北朝鮮ではなく、日本で暮らしています。小学校、中学校入学時の実質的な学校選択権は親にあります。子供達が、卒業後、一人の人格として日本の社会で、日本の文化の中で共生していくことを考えれば、日本の一条校ではなく、反日的な教育を施す朝鮮学校に通うことが彼らの将来にとって本当に幸せなのかも疑問に思います。そのような状況下で、朝鮮学校という選択肢を、あえて行政が補助しなければならぬのでしょうか。そういう思いから今回の質問に至ったものです。(なお、この質問についてはオピニオン誌「アイデンティティ」6月号に掲載されました。同誌ご希望の方は、大前事務所までご連絡下さい。)